

●酒特集●

# スポーツと歩んだ バーテンダー52年

KR&AC 林秀雄さん

A・C・シムら神戸居留地に住むスポーツの好きな外人さんたちの手で明治3年に創設されたスポーツクラブがKR&AC(Kobe Regatta & Athletic Club)である。百年を越す伝統をもつ同クラブは、神戸のスポーツと文化に大きな影響を与えてきた。そのKR&ACのバーで、外人さんを相手に52年シェーカーをふりつづけてきた林秀雄さんにスポーツと酒に親しんできた往時の話をお伺いした。

★「チビ、チビ」って呼ばれて可愛いがられてきた

KR&ACに勤められたきっかけは何ですか。

林 英会話でも覚えてやろう、というつもりでね。注文を聞いたり電話をとったりしないといけないのでヒヤリングだけは何とか上達したけど、未だに喋べるのはカタ

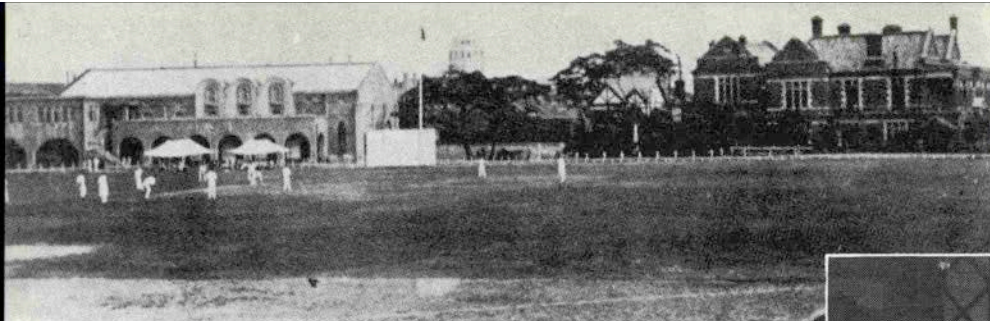


半世紀以上にわたって KR&AC と歩んできた林さん。その人柄に魅せられて通ってくる人も多い。左は白崎都香佐さん。

言程度や。最近ではみんな日本語が達者で負けるくらいや(笑)。15の歳に入って今67年から、ひと所に52年いるわけやね。背が低いからチビ、チビって呼ばれた。当時は先輩のバーテンが7、8人いて見よう見真似で修業したもんです。先輩はもうほとんど死んだね。一つのこと徹底する昔気質の人たちやった。磯上公園の今の場所に移ってくる前は東遊園地にクラブハウスがあって、上のスタンドからグランドの様子が見えるようになっていた。下は劇場になっていて、よくアマチュア・ドラマといって素人芝居をやっていたな。

— その当時はどんなスポーツが盛んでしたか。

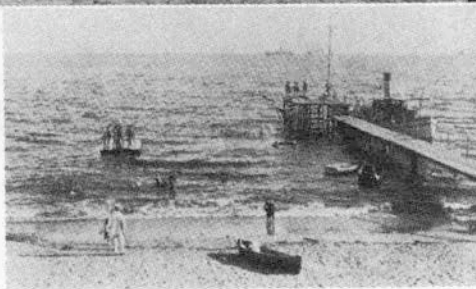
林 ラグビー、サッカー、ホッケー、陸上競技、野球などありとあらゆるスポーツがあった。水泳はまた別のクラブがあって敏馬でやっていた。レガッタは今はないな



上：創設当時「内外人遊園」(現在の東遊園地)に建てられたクラブハウス

右下：戦後まもなく発足の野球チーム、前列中央が林さん。

左下：敏馬にあったボートハウス



ったけど当時は盛んだった。自分でもいろいろやりましたよ。KR&ACで強かったのはラグビーとボートかな。インターボート神戸・横浜対抗戦というのをずっとやっていて、これのためにみんな張り切ったもんです。横浜との定期戦は今も続いている。百年の歴史がある。毎年交互に遠征していき勝った方がペナントをもらってくる。試合の後には必ずパーティ。あの時代には男はマティーニ女はマンハッタンと決まっていた、食前に必ずお盆にのせて運んだものです。

——その頃の外人さんで思い出に残る人はいますか。

林 古いお馴染みさんはほとんど死んでしまったね。覚えてるのはジュームズ山で有名なジョネス・ジュームズ。ちよっと威張った風でね、いつも先、先と考えていた。山を切り開いてヘリコプターの着陸できる場所をつくるとか言っていた。あんな人はもうおらんね。居留地の人たちは会社がすんでから飲む場所がないでしょう。

ここで一杯飲んでから家へ帰って夕食にする。みんなよく仲よくしてた。英米仏独から来てる人がやっぱり多かったね。勤めてたのは船会社、銀行、貿易といったところ。みんな羽ぶりが良くてね。神戸の経済を左右していた。今は本社が東京へ移ったりして昔ほどではなくなってたね。

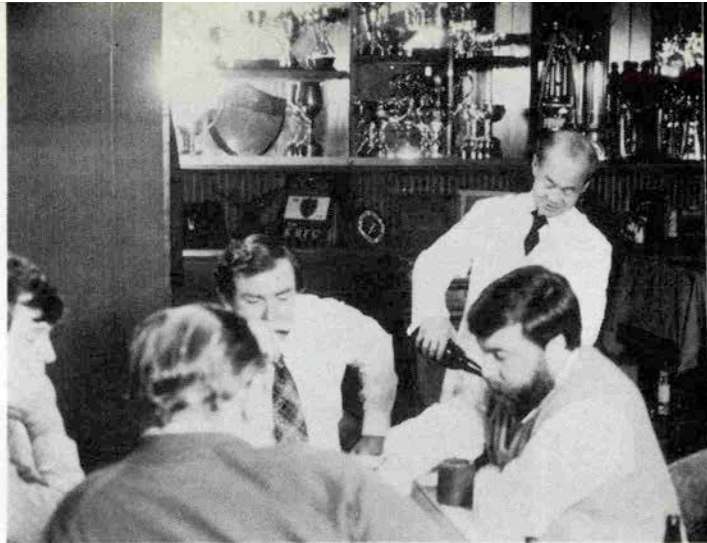
★パーティの後は新開地まで歩いて遊びに行った

話を伺っている片隅では4人の外人さんたちが時々奇声をあげながらテーブルの上でサイコロ遊びに興じている。バーの天井に吊り下げられたペナントや遠征記念のカップなどが長いクラブの歴史を語っている。

——その当時はどんなことが楽しかったですか。

林 物が安くて何でも豊富にあったからね。タクシーが50銭で、それを30銭に値切った。マティーニが15銭だから50銭もってたら大威張りで歩けたね。仕事がすんでから遊びに行くのが楽しみやった。夜中の1時だろうが2時だろうが頓着なかった。一人者の頃は風来坊で転々と





ゲームに興じながらビールを楽しむ外人たち。のぞき込むとサイコロを見せて「これ丁半と違うよ」と鮮かな日本語が返ってきた。

らかくれよった。今は物価もあがつて外人さんも住みにくくなってるんやろね。ちょっとせちがらくなつた。時代とはいえ、残念や。

——戦争の間はクラブはどうされていたのですか。

林 それでも一応開くことは開いていた。ドイツや中立国の人が多かったが。飲み物も割り当てがあつて一人ビール何本と決まつている。切符を渡して、それがなかったら飲めないようになつてた。結婚したのは戦後すぐで35くらいの歳かな。恋愛したかつて、いやいやその時代は大抵見合いやつた。女房ですか、今日はアルバイトでパーティの準備に来てるよ。前は一緒にここで働いていたんだ。今は何かあつた時だけ手伝いに来てる。

——お酒の飲み方は今と昔と変わりましたか。

林 飲み方はあんまり変わらんね。滅茶苦茶飲む人は多かったけど。それと好みの変化はあるね。ウイスキーではジョン・ヘイグが流行してたかな。今はよく出るのはジョニー・ウォーカーにオールド・バー。神戸にいる外人さんの系統によるのかもしれないね。カクテルではウイスキーサワー、マンハッタン、マティーニくらいかな。ふだん出るのは大体20種類くらいやね。もつといういろいろあつたけど、最近あまりカクテルは飲まんようになってたからね、ほとんど忘れてしまったな。それに前はよく立って飲んでたね。自分で一番好きなのはブランデー・アレキサンダーや。今は体調があまりよくないので、ビールだけにしている。

——これからどんなことをしたいですか。

林 ここをやめて1年はどゆつくり家で、女房と休養したいね。体の続く限りは頑張つて働くつもりだけど。勤めて50年目にはクラブで記念のパーティをやつてももらつたし、楽しいことが多かったな。スポーツマンはみんな

陽性だから付き合つて気持ちよい。こちらへ来る人は、みんな神戸のことを気候がええ、風景がええと誉めてくれる。僕も神戸に生まれ育つて、時代の最先端を行く街で暮らしてこれ良かったと思つている。

しててクラブに泊つたりした。新開地は今でこそさびれた感じがするけど、その頃は賑やかやつた。元町通をずっと歩いて新開地まで行つたから、昔はみんな足が強かつたね。元ブラ言うて、元町のショーウィンドウをのぞきながら歩いていると、知らんうちに三越のあたりまで着いている。その頃の格好というと、黒のズボンの両横に赤い線が入つたのをはいて、上はネクタイにKR&ACのネーム入りの白い上つぱりを着てた。クラブのユニホームを着て赤線へ行つた奴もいるし、カフェに遊びに行つて「どこの看守や」と言われた奴もあるわ。

——外人倶楽部で働いているというハイカラで、遊びに行つた先でもてたでしょう。

林 まあ想像にまかせろわ。(笑) みんな給料がいいと思つたらしいけど最初にもらつたのは27円から30円。ただチップはよかった。これが給料以上やつたね。昔の外人さんはただでは人は使わないという気質で、みんないく

天然原酒

*Bottle* 灘

そのまま冷やして…  
オンザロックで…  
水割りにして…  
お召し上がり下さい



灘の生一本

清酒 **大黒正宗**

株式会社 安福又四郎商店醸

灘の酒

トップ

極上TOP世界長

1.8ℓ詰 ¥1,320



味は最高

値段は手ごろ…

極上TOP

極上TOP世界長は  
高品質のお酒を特級・一級と  
して申請せずに酒税を節約し  
ているお得なお酒です。



品名	価格	酒税の差額	アルコール度
世界長 極上TOP	1,320円	180円	15-16.5度
特級酒	2,290円	916円	16-16.5度
一級酒	1,660円	441円	15.5-16.4度

(価格の差のほとんどが酒税の差です)

自醸酒100%

清酒

**世界長**

神戸・御影 / 世界長酒造株式会社

ダンゴムシというのは  
おもしろいやつじゃ  
おどろかすと  
まるくなりおる



今やわしは ダンゴムシが  
他人とは思えない



—JZ—



もしかすると、カメの研究を  
なされておられるのでは？

わかるか？





● THE ARIMA SPA ●  
IN FEB.  
**湯の街**  
有馬歳時記

トラ、トラって何のこと？

夕暮れともなると有馬の町は、昼間とはまた違った趣きにつつまれる。小路の出会い頭で、あでやかな芸妓さんと鉢合わせをして、思わず一步譲って、あとに残る脂粉の香りのなかに後姿を見送るといった風情もこの季節にはひとしお心に泌みるものがある。

現在、有馬温泉には約五十名の芸妓さんがいる。十三軒の置き屋さんにそれぞれ何人かがいるのだが、有馬検番の会長わかまつ席のお母さんの吉井利子さんの話によると有馬温泉も百五十名ほどの芸妓さんで賑った時期があったそうだ。昭和三十一年、八年というからこれ二十年前の話だ。往時に比べると人数が減り確かに淋しくはなったが、しかし、本来お座敷遊びの醍醐味は、座を賑わせてくれる芸妓さんのエンターティメントぶりにある。それは、昨日や今日、座敷に上った若手にはなかなか難しいことだ。その点、有馬温泉の芸妓さんには遊ばせ上

手の芸達者が揃っている。これは実に心強いことだ。

最近の若い人たちは、芸妓さんとのお座敷遊びを知らない人が多い。たとえば「トラ、トラ」とか「トトデーヤ、カカデーヤ」といっても、はて何のことかと首を傾げる人も多いと思う。また、ビール瓶（もちろん中味入り）とコップを二人の前に置き、セーノでタスキがけを早くした方がビール瓶を掴み、負けた方がビールを飲む羽目になる、といった遊びも、文章にすると大して面白くないが、これを三味線や掛け声の鳴り物入りでやるとなかなか味のあまるものだ。

お座敷遊びの伝統を守るのは私たち

有馬温泉観光協会では、毎年、勤続三十年近くになる人に表彰状を渡しているが、大体年に二人ほどはその栄に浴する。つまり、それほど芸妓さんにとっても有



芸を磨く芸妓さんたち（有馬検番にて）

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

**古泉閣**

TEL (078) 904-0731

旅は出会い  
ほのぼの心を添えて

政府登録（登録第78号）

● **月光園** ●

神戸市北区有馬町318  
TEL (078) 904-0366

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

**銀水荘**

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 **光楽**

TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な  
日本風の館です

国際観光旅館



**欽山**

TEL (078) 904-0701代

馬温泉は住みよい土地柄なのだ。話では途中で他の温泉地へ出て行った人も、やがて、再び有馬温泉が恋しくなつてこの地へ戻つて来る。そういう人たちも多いそうだ。

だが、時代の移り変わりとともに、お座敷の様子も変つて来たようだ。かつては大阪の船場あたりの旦那衆が何日間か泊まり、大尽遊びで大盤振舞をしたそうだが、そういうことは時節柄なくなつてしまった。中央卸売市場の人たちがこぞつて遊びに来ていた頃も景気がよかつたらしい。中央は七のつく日が休みだったので、その日は朝からみんなで待つていたという話。しかし、それも今は昔語りになつてしまった。最近はそのような特定の客がいなくなつたかわりに企業などの団体客が増えて来ている。それはまた旅

館、ホテルの規模が大きくなつて来たので、数でこなさないとやつて行けないという台所の事情もあるようだ。そうなるに粋な遊びの出来る人が少なくなる。

そこで有馬温泉観光協会青年部は、一昨年に「温泉大学」なるイベントを企画し、男子大学生を集めてお座敷遊びのノウハウを「講義」した。

最近はお座敷でもめつくり洋酒党が増えたように、日本のお座敷遊びの伝統もうかうかしているといつた間にか消えてしまいかねない。しかし、こと有馬温泉に関しては綺麗どころがしっかりと守つてゐる。御多分にもれず芸の道は厳しい。踊り、三味線、唄など古典ものはもちろん、当節の流行歌もこなさないとけない。有馬芸者衆は寒風のなか、芸を磨くため今日も稽古に励んでいるのだ。

## ●有馬の宿

純日本風の館

## ◆ 山

欽山は、昔ながらの日本風の旅館だ。客室30、収容人員200というから有馬温泉の旅館・ホテルのなかでもこじんまりとした方だが、あくまで「専門店」に徹する。すでに五十余年の歴史をもつが企業や官庁関係に代々の社員筋が多い。それは、細やかな心の触れ合いを何よりも大切にし、ベテ

ランの板前さんが腕をふるつた京風料理に「見てよし、味わつてよし」の伝統が今日まで変わらなかつつづいてゐるからだ。しつとりと落ち着いた純日本風四層楼。そこには、現代生活のなかで見失なわれ勝ちな「わび」とか「さび」の伝統が今も残り、しかも、そのなかに現代感覚を巧みに調和させてゐる。

設備としては、一八〇畳(舞台つき)の大広間、ブルー、会客室、バー、コーヒールーム、ゲームコーナーなどが完備され

てゐる。ゴージャスな雰囲気と心のこもつたもてなしが満喫できる欽山は、いわば、日本人の心のふるさとと言つていいかも知らない。



落ち着いたロビー

〒651-14  
神戸市北区有馬町一三〇一四  
電話(〇七八)九〇四一〇七〇一

敷地内から湧きでる  
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295(代)

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181



伝統と格式を誇る

兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501(代)

湯の香漂う

緑の中の優雅な佇まい

木造りの宿



御所坊

TEL (078) 904-0551



話題のひろば

<I>

## のりにのった 祝賀パーティ

●佐藤廉先生ともしびの賞受賞記念祝賀会



(上・左) 兵庫県ともしびの賞を受賞した佐藤廉ご夫妻 (右) ピチピチした女性のダンスもとび出した。  
(下・左) 中西勝画伯とちんがら楽団 (右) 会場はお祝いにかけつけた各界 250 名でうずまった。

「地域社会にあって、長年にわた  
りひたむきな努力を続け、郷土文  
化の向上に貢献しその活動と功績  
が著しいものを表彰することによ  
り、県民文化の高揚と豊かな郷土  
づくりに資することを目的とす  
る」と高らかに唱い上げた兵庫県  
ともしびの賞を、元町画廊主の佐  
藤廉さんが昨年受賞し、十二月五  
日夜、生田神社会館で「佐藤廉先  
生ともしびの賞受賞記念祝賀会」  
が盛大かつ賑やかに開かれた。

「画商という『商』のつく人がこ  
の賞を受賞したのは初めてだ」と  
画家の中西勝さんは今回の受賞の  
意義を強調し、来賓のみなさんの  
祝辞のあと、佐藤さんは「ともし  
びは足下を灯す小さな明かり。私  
一人が多くの明かりを持つてい  
るのではなく、みなさんそれぞれが  
個性あるともしびを一つずつ持つ  
ている。それは心のともしび。そ  
のともしびの輪が少しでも大きく  
広がるようにお手伝いをしたい。  
一つでも二つでもともしびの輪が  
広がるように頑張っで行きたい」  
と感謝の言葉を述べた。

長島隆神戸地下街協副社長の音  
頭で乾杯のあと、神戸太鼓の勇壮  
な響きが会場を圧し、第二部神戸  
オールスターによる歌のフェステ  
イバル、歳末助け合いのど自慢大  
会などで、二五〇名の参加者がの  
りにのったパーティだった。

# ●アカデミー・タート・パンの集いで 嘉納正治社長の 叙勲を祝う会



右：叙勲のお祝いの会で挨拶をする嘉納正治氏、上：タート・パンメンバーの和やかな会食風景。下右：副会長の  
ジャン・メルオー氏と歓談する嘉納氏、下左：シェフ山崎良平氏のメニューの説明。

アカデミー・タート・パンという集いがある。これは「ピストロ・ドゥ・リヨン」のシェフ、山崎良平さんに料理人としての腕を存分に振ってもらって、フランス料理の粋を楽しもうという集いである。会長が佐治敬三／サントリー社長▽副会長が嘉納正治／白鶴酒造社長▽とジャン・メルオー神父の三人という会合である。

その副会長の嘉納正治社長がこの度、勲三等瑞宝章の叙勲を受けたのを、お祝いしようと現在三宮ターミナルホテル4Fのシャント・クレールに会場を移し、アカデミー・タート・パンの集いがもたれることになった。島田光夫△つるや衣装店社長▽芝喜彦△医師▽緒方重郎△医師▽大沢和弘△医師▽小泉康夫△本誌編集長▽川上勇△医院▽の6名が発起人。会員には下村光治△神戸風月堂社長▽寺本晃△淡路屋社長▽川瀬喜代子△にしむら珈琲社長▽などメンバーが勢揃いした。

娘さんと同伴で出席した、嘉納正治社長も当日は流石に嬉しさを隠さず頬もゆるみっぱなし。このシャント・クレールのシェフでもある山崎良平さんの特別料理にメンバー一同舌鼓をうち、佐治社長から贈られたシャトオー・リヨンの貴腐ワインの風味を楽しんだ。



# ファッション産業界、国際化時代へ

## 坂野惇子社団法人ザ・ファッショングループ会長にきく

昨年九月日本貿易振興会主催、全日本婦人子供服工業組合連合会が実施団体として開催した、ニューヨークで初の日本の婦人服総合展JFDは所期の成功を取めた。企業参加した株式会社ファミリアの坂野通夫社長、岡崎晴彦専務取締役、武内重幸営業開発部長にその感想を伺った。またJFDのニューヨークレポートとして社団法人ザ・ファッショングループの主催で十二月にJFDショウが集約再現し東京で開かれた。坂野惇子F.G会長にはその模様をインタビューした。



▲坂野通夫氏  
＜株式会社ファミリア社長＞  
▼武内重幸氏  
＜同営業開発部長＞

▲坂野惇子氏  
＜株式会社ファミリア代表専務取締役＞  
▼岡崎晴彦氏  
＜同専務取締役＞

坂野（惇）「私は日本のアパレルがアメリカでJFDを開くことが出来たのは夢のようです。二十年近く前に初めてアメリカへ渡った時、なんて素晴らしい国なんだろうって感激したんです。当時日本のアパレル産業は成長の初期段階で国際化などまだまだ遠い夢の時代でした。この時代を知っている人はJFDのショウを見て、涙を流していましたね」

武内「私も十年前に初めてアメリカへ行った時は興奮して、夜中まで慣れないカメラでウインドウを写し回りましたね。度胆を抜かれた、の一言に尽きました。昨年のJFDでは、アメリカのビジネスがプロに徹していることを改めて痛感しました。優秀なバイヤーは、サンプル程度に買い付け、アンテナショップで動きを見るときやり方で、在庫を残さないわけです。プライスについて我々は勉強すべき点が多いですね」

岡崎「アメリカの商売は本当に厳しいです。今回は第一回目ということで、物珍しさもあり、多勢見下さったようです。が、第二回、三回目で良い評価を得ないと、将来アメリカでのビジネスに結びつかないでしょう。」  
「ファミリアのアメリカでの具体的なビジネスの見通しはいかがですか。」

坂野（惇）「実はJFDの約三カ月前にWWD紙（ウィメンズ・ウエア・デیلیー）に二頁に渡って銀座ファミリアをメインにファミリアの紹介文が掲載されました。」

「昨年九月にニューヨーク、ウオルドルフ・アストリア・ホテルで開かれたジェトロ（日本貿易振興会）主催のJFD（ジャパン・ファッション・フェア）も各紙に紹介され成功を収めましたね。」

坂野「日本のアパレル五十四社が一丸となって、国際化時代に対応するための試みだったが、一応目標は達成できたようです。日本のファッションビジネスもこれを機に飛躍できると思います。商品価格とかまだ解決すべき点も多いが、自動車と共にファッション業界でも日本製品の評価が高くなっているのは事実です」





▲昨年12月11日、東京ヒルトンホテルで開かれたJ F Fのニューヨークのショウの集約再現ステージ  
▼右より坂野惇子（会長）木村鞠子（副会長）出村敏子（運営委員長）花井幸子（F Gショウ委員長）新井明子（F Gショウ副委員長）

ヨナルな女性の団体です。N・Y本部は一九二八年に設立され、主要七ヶ国に三十四の関連団体が生まれております。東京支部は一九六七年より活動し、月例会の他、研修会、ゼミナール、ショウ等企画しています。そこでファッション情報をキャッチしたり、理論や実技のレベルを高めたり、能力を向上させファッション業界に貢献する事を第一目標にしています。働く女性の進出が目覚しい昨今、資格のある方には、ぜひ神戸のファッション業界からも多勢入会して頂きたいと思います」

その反響もあったのか、J F FではVIPの方々が多勢、我社のショールームを訪れてくださいました」  
武内「アメリカ市場へ進出した経験は二、三社しかなくて、どれだけ来て下さるかは各社心配だったでしょう。



<右>中央はサックス・フィフス・アベニュー副社長のメル・ワレン氏とファミリア担当セールス・マネージャーのチャームなアイリーンさん  
<左>ファッションコンサルタントのミミ・リーベスキンド女史を囲んで（共にウオドルフ・アストリア・ホテル656号のショールームで）

幕を開けると大盛況で、入って下さったお客様の数では我社が一番多かったようです。両専務は昼食をとる時間もないほど、接待に大忙しでしたな」

岡崎「ただビジネスとしては、我社はまだアパレルメーカーより、小売店機能の方が強いので、店のプレスステージを失なわないよう、時間をかけて進めるつもりです」  
F G（ザ・ファッション・グループ）のニューヨークレポートとしてJ F Fのショウの再現を十二月に東京ヒルトンホテルで開催されましたね。

坂野（惇）「F Gはニューヨークに本部があり、十二月のショウでは、今まで新進のN・Yデザインナーのコレクションを持ってきたりしていました。現在第一線で活躍中のペリー・エリス等、N・Y本部の紹介でいち早く、F Gが日本で公開ショウをしたんですよ。そこで今回はJ F FをN・Yまで見に行けなかった方のためにも、集約して再現してみました。今年も九月にJ F Fの第二回目が開催されるのでより多くの参加を期待しています」  
坂野専務が昨年より会長に就任してらっしゃるF Gについて、ご説明いただけますか。

坂野（惇）「社団法人ザ・ファッショングループはファッション業界で指導的な役割を果たしているプロフェッショナルな女性の団体です。N・Y本部は

★がれりあ馬車乃・白石弘子さん草木染個展  
北野町の住人で「がれりあ馬車乃」という工房を持つ、染色作家の白石弘子さんが、5年ぶりに11月24日から29日まで、センタープラザの「ギャラリー・あじさい」で個展を開いた。



会場内で白石弘子さん

のれん、絵文字、帯、カーテンなどファッションものからインテリアまで染絵まで、染料を駆使して約一〇〇点を展示。特に類は、木工の笹倉徹、小林秀晴

多田理さんと、木彫の村上喜平さんとジョイントして出合いの楽しさを見せた。白石さんの素材で、やさしく、愛らしい、また洗練と華やかさの両面をこなすハイカラな作風は、お人柄と相まって、品よく美しい。

★女性だけの忘年会があってもいいじゃない年末ともなると、かく男性連中は忘年会とかでは酔い気分がこもつて多い。そこで女性たちは集まって一杯、とラジオ関西の番組「おはよう神戸から」(AM8:10)が女性のためのワインパーティを企画した。12月18日、午後2時半、三宮のワインバーに抽選で選ばれた20名の女性が西は加古川から東は吹田の地域より集まった。司会の三浦結明氏と東ひびの軽妙なおしゃべりとワインを飲みながらという女性ならではの企画、番組のファンであるという共通点によって全員打ち明けて観望したり、あつたという間に5時になり、ミセスは家路へと急いだが、なかには二次会へ赴く人も。



中央は司会の三浦、東両人

中央は司会の三浦、東両人

★コミュニケーションの場をつくる  
モンタナ、ミグレ、すずろく、そのいちといった個性ある単品をうまくコーディネートして、40組のスタイルを見せるショウウが12月20日夜開催され、そのユニークさに新鮮だったわ、という感想がきかれた。「スーパ



パンツルックが楽しい

コーデインエーション」と題したファッション&デイスコパーティは三宮さんプラザ2Fのブティック・レネのスタッフが第一回目の試みとして企画した。ファッション産業に携わる人々を中心に140名が夙川のパーソンホールに集まり5人のモデルによるショウとその後軽食とドリンクで若さがフイーバーしたデイスコタイムとなった。

★より「美」を追求したサロンづくりを  
「カール・ドグレイ」舌を噛みそうな店名が、昨年末、神戸プラザホテル地下1階にオープンしたヘアー&エステティックサロン。オーナー



落ちついた店内が寛げる

の裁さんは北野町のロースガールズで4Cというアクセサリーのブティックの店を営んでいる。が、女性の美を内面から装いまでトータルで追求しようとする本領を発揮すべく、ヘアーを金髪に任せて始めた。ティールームのようなゆったりとしたスペースの受け付け、室内は全身鏡がふんだんに使われ、寛げる雰囲気がある。

■神戸プラザホテルR1番33213050  
9AM~8PM(土曜は10PMまで)

★K・F・M春夏ファッションショー  
テーマは「女のいる世界」  
3月3日(水)の春一番。K・F・M(コウペファッションモダリスト)が、第3回目のファッションショーを「春夏コレクション」として、神戸ポートピアホテル音楽の間で開く。テーマは「女のいる世界」と、コウペ女性時代にふさわしい作品を展開する。デザイナーは、砂川松枝、市野木江充子、大里最世、大西節子、金子正男、藤本ハルミ、山田



昨年のKFMのショウより

富紗子さんら7人。第1回は午後3時からで¥3,000、第2回はディナショーで¥15,000。お申込みはK・F・Mの事務局/神戸市中央区山本通2丁目2ノ7/103 マーケット内245690または神戸っ子2246まで

★ファッションショウへのご案内  
市野木江充子、大里最世の「春夏コレクション」パレールワールド  
日時/2月23日(水) 1PM 3PM  
場所/北野クラブ(神戸市北野町) KFMで活躍中のモデルスト、ニットの世界を生み出す市野木さんは、カジュアルっぽいしきや編み込みのハンドバッグが中心。ブティック魔女の大里さんは、コットンの白いレースのブラウスで優しく女らしい世界を表現します。



楽しいロマンの世界へ

力作約90点揃った、このショウに神戸っ子愛読者より20名を招待いたします。お申込み/神戸市中央区東町113ノ1大神ビル7F月刊神戸っ子パレールワールド係まで  
電話33112246



COLLECTION — ⑭ハンティングワールド

## HUNTING WORLD

### アクティブな都会生活に フィットする 狩猟家が 生みだしたバッグ

ハンティングワールドの創始者ボブリーは、冒険家・狩猟家として世界にあまり知られていません。その永年の体験を生かし、自ら研究、試作を重ねて生みだした傑作がこのバッグ。優れた機能と堅牢さに裏打ちされたシンプルなデザインは、アウトドアライフ志向の人たちにとって垂涎の的。アクティブな都会の生活にも、きつと似合うことでしょう。

●カメラバッグ…………… 55,000円

●ポシェット…………… 48,000円

〈4階サロン・ド・グウ〉



逢うたび新鮮。  
ステージ82

神戸もとまち  
**大丸**





愛の予感に胸弾ませて

POETIQUE

KOBE  
まさ

- |      |                    |
|------|--------------------|
| ■神戸  | さん ぶ ら ざ 店         |
|      | さ ん ち か 店          |
|      | 須 磨 パ テ ィ オ 店      |
| ■大 阪 | 千 里 阪 急 地 下 街 店    |
|      | 阪 急 フ ァ イ ブ        |
|      | 西 武 高 槻 店          |
|      | 泉 北 パ ン ジ ョ 店      |
| ■宝 塚 | 阪 急 ファ ミ リ ス ト ア 店 |
| ■大 津 | 西 武 大 津 S C 店      |

店長さん、こんにちは!

## ● (その1) 六甲店 ● 中村 マサ子さん (スギヤ六甲店店長)



六甲店は支店の中では一番古く、長年来的なおなじみのお客様が多いのが特徴。中でも横浜育ちのベテラン店長の中村マサ子さんのコーディネートには母娘二代のファンもいるほど人気があります。

Q1 ファッションの仕事をしていちばん幸せなときは?

中村 選んでさしあげたコーディネートにお客様が満足してくださったときです。お勧めする側がつねにお洒落について勉強しないとダメですね。

Q2 六甲店はミセスのお客さまがメインだそうですね。

中村 手頃なお値段で上手にカジュアルなお洒落を楽しんでいらっしやいます。

Q3 スプリングファッションについて……。

中村 この春は楽しいプリントやベストスーツを中心に揃えています。ぜひ一度お立寄りください。

LADIES' WEAR KOBE OSAKA TOKYO

KOBE SUGIYA

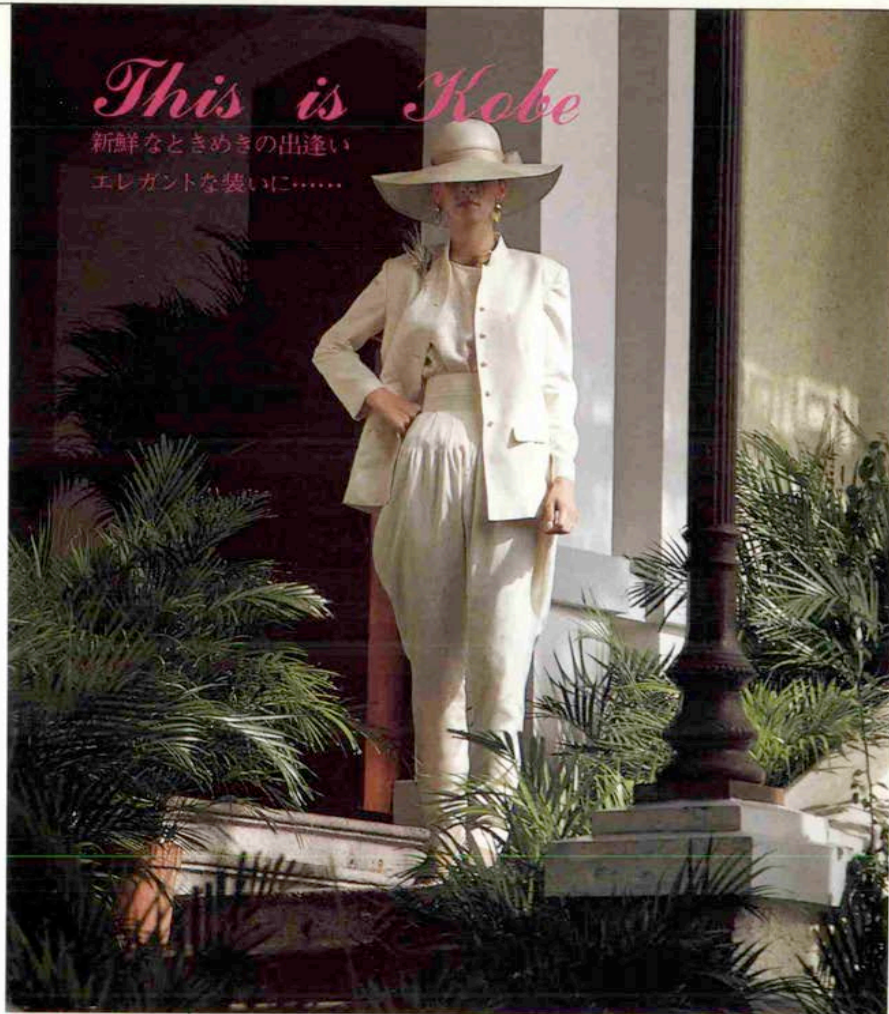
本店(神戸トアロード) TEL078(331)3436

名谷店・阪急神戸店・六甲店・岡本店・芦屋川店・宝塚店・梅田阪急三番街店・  
心斎橋バルコ店・西武大津店・西武八尾店・池袋バルコ店・渋谷店・西武宇都宮店

# *This is Kobe*

新鮮なときめきの出逢い

エレガントな装いに……



パンツスーツ(シルク100%) ¥48,000



*Saimora*

エレガンスブティックシンワ(三宮センター街) Ⅱ ☎078・321・0200

331・3098

シンワ洋装店(さんちかファミリータウン) Ⅱ ☎078・321・5254

コットンシンワ(須磨ハティオ専門店街) Ⅱ ☎078・791・0002





# サクセス St. Valentine's Day

## マックギャルのプレゼント作戦

この春、彼にぜひベストを使ったコーディネートをお勧めします。従来のウールに加えて、綿や麻素材のおしゃれなベストが登場します。一枚のベストで違った雰囲気。着こなしのキーポイントにプレゼントして、彼の心を捉えて下さい。



マック社長 植村孝一

(左)真北悟(MAC三宮店スタッフ)

ベスト(綿100%—他3色) ¥6,900

トレーナー(綿100%—他7色) ¥5,300

キャップ ¥3,800

(右)豊田秀喜(MAC三宮店スタッフ)

ベスト(綿70%麻30%—他3色) ¥8,900

①キャンパスバッグ(左) ¥2,300

②スポーツバッグ(右) ¥3,900

その他小物類もとれ揃えております。



# MAC

SINCE 1895 KOBE

本 店 / (078) 392-1651 / ニューセンター 7 F  
三 宮 店 / (078) 391-0895 / 三 宮 センター 街  
プレザージュ / (078) 391-0896 / ア ロード  
ドルチェマック / (078) 332-0141 / 三 宮 センター 街  
姫 路 店 / (0792) 86-4738 / 姫 路 駅 デパート 2 F  
京 都 店 / (075) 211-0857 / 藤 井 大 丸 2 F  
宝 塚 店 / (0797) 71-4830 / 宝塚南口サンビオラ 3 F

Only the very best Scandian fox is  
awarded the label..SAGA.



エレガントな美しさを演出する

チンチラ

三宮センター街東入口スタイルビル3F  
TEL 078-391-4457 水曜休

あなたのファッションに夢を



FAIRE PRESENT DE CHOIX

カセット

砂川松枝

大丸店 中央区三宮町3丁目3-1-16 ☎391-4992  
FANTASTIC SALON 中央区北野町4-9-18 カサフェニックス1F  
☎241-5482



# 座敷で

全国の地酒

一〇〇銘柄勢揃い。

# 地酒。

地酒を口に含むと、その土地柄の風土と人情の温もりにふれるようだ。  
さあ、今宵仲間とにぎやかに酌交そう。

あぐらをかいて、季節の鍋を囲んで……日本の冬の夜は、これに限る。

※ご家族・少人数様のお食事には、個室もご利用いただけます。

各種宴会にもお気軽にご利用いただけます。



鍋・しゃぶしゃぶ／気軽な一〇〇畳

2階  
三十三間堂

コーヒーに、お食事に  
お気軽にご利用いただける味の4店。

9階 スコッチ&ローストビーフ **ガスライト**

2階 すたんと割烹 **銀 堅**

2階 コーヒーラウンジ **カキムリ**

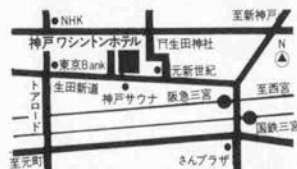
2階 小宴会から会議まで  
多目的にご利用いただける **会議室**



三宮・生田新道沿  
客室220室  
シングル¥3,800より  
ツイン¥7,400より

## 神戸ワシントンホテル

神戸市中央区下山手通2-11-5 ☎(078)331-6111







# デザイナーの顔

えと文

篠原 順子

(スチリスト)

世界の6人のショウ、三宅一生とウングロを、東京で見る。まず、一生、暗転の中、少しづつ、目が慣れてくる。笛とも、シンセサイザーともつかぬ不思議な新しい音と共に、明るくなり、そこに、きものでもなく洋服でもない、利休ねずみと云うのか黒に近い灰色の麻の布を覆った、黒人のモデル達が浮かび上る。空間の中の完璧な構図のごとく、表情のないモデルの美しい姿と、配置、押えた色彩の中の、わずかなきらめく少しの色が、ハツとする程、凄味のある、新しいアートを見る思いがする。日本を意識しているデザイナーは多くいるが、彼の場合は、内面的に、押えた、表現の様な気がする。翌日、ウングロ

を見る。彼の服は、一生と対称的に、西洋的。アタリマエだが、コケティッシュでバタクサイ、プリントが生き生きとして黒の扱いが、とてもキュート、アンティックなパリと云う感じ。日本人にはない、パリのコケットリーである。各々の作品を、今回は作者と同時に、見る事が出来た。一生のきりりと引きしまった端正な美しい、陽に焼けた顔と時々、見える真白な歯がこぼれ、彼の作品の明快にして、切れ味の良い知的なイメージそのもの。最近、あらゆるジャンルの作品と作者の一体となっている、作家の顔に、大変、興味を持つ。顔といっても、四十才過ぎての顔にかぎる。

